

感染症対策で、熊本の未来を守る ～医療人材の育成と検査体制の強化を～



これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の波が迫る中、逼迫した熊本県下の検査体制を助けるべく立ち上がった大学の教職員たちの苦労や戦いの日々、実際に行われてきたPCR検査の仕組みをご紹介します。さらに、アフターコロナの時代を迎え、コロナ禍で得た経験を活かして行政と連携して次の感染症の到来への準備を進めており、他では聞けないその取り組みについてをご紹介します。

令和7年 **4月27日** (日)

時間 14:00～15:00

対象者 どなたでも

参加費 無料

定員 先着30名 (要事前申込)

会場 蔦屋書店熊本三年坂
地下1階イベントスペース
(熊本市中央区安政町1-2)

申込 QRコードまたはお電話で
お申し込みください。



講師

山本 雅大

熊本大学大学院生命科学研究部附属
生体情報研究センター センター長

研究内容

がん生物学の検査や治療への応用が専門で、生体情報研究センターを通して新規感染症対策や検査技術の教育・研究にも取り組んでいます。

大坪 和明

熊本大学大学院生命科学研究部附属
生体情報研究センター 教授

研究内容

第3の生命鎖「糖鎖」の機能やその異常による疾患メカニズムの解明、検査への応用を研究しています。

申込み・問い合わせ先

熊本大学総務部総務課広報戦略室

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
TEL 096-342-3119



クラウドファンディングに挑戦！

目標金額：270万円

募集期間：令和7年4月1日 (火)～令和7年5月30日 (金)

生体情報研究センター レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/cbls-seitai>